

令和 5 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

令和 5 年 1 2 月 1 8 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化研究科・院生

申請者名 小原 舞音

助成の区分 (該当するものに○)	○ 学会参加助成 学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事業名	Psychology of Mathematics Education Regional Conference 2023 in Thailand における成果発表
成果の概要	<p>令和 5 年度 1 2 月 2 日から 4 日の 3 日間開催された Psychology of Mathematics Education Regional 2023 in Thailand に参画するとともに、研究成果の発表を行なった。成果発表のタイトルは THE ANXIETY OF HEARING-IMPAIRED COLLEGE STUDENTS ASPIRING TO BECOME MATHEMATICS TEACHERS である。日本では聴覚障害のある大学生が数学教師になり、聞こえない生徒と数学をともに学ぶことが実現している一方で、数学教師を目指すにあたり学生は不安を抱えている。教職修士（専門職）研究の研究対象である数学の学習と理解における不安に関わって、森本・江森氏との共同研究において研究の役割を得て、発表を行なった。調査分析の視点の設定や調査の実施、調査結果とその分析の経緯とともに、本研究を通して教師になる以前に数学についてコミュニケーションする経験を積むことが必要かつ重要であることが教育への示唆として得られたことを発表した。タイや中国、韓国、シンガポール、ベトナム、ラオスははじめアジア地区からの数学教育研究者に加え、アメリカやオーストラリアの数学教育研究者の参加や発表があり、数学教育研究のさまざまな取り組みに接し、世界からみた日本の数学教育、社会や文化の違いから生じると考えられる研究の視点の違いなど、多くの気づきや学びを得ることができた。特に、発表を通してタイの研究者や教師をはじめ、シンガポールや台湾の数学教育研究者との質疑応答を通して貴重な意見交流ができた。また、同じく数学教育研究に従事しているさまざまな国の研究者や教師、大学院生と交流できたことは、今後の研究の取り組みに向けておおきな刺激となった。初めての国際学会の参画・発表で緊張したが、貴重な経験になった。この経験を、既に成果発表が認められ、4 年に 1 回開催される、2024 年 7 月はオーストラリア、第 15 回世界数学教育会議 15th International Conference on Mathematics Education にかかす。</p>

--	--